

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

		応募番号	1
被推薦者（推薦を受ける者）			
(かとう たけし) 加藤 岡	職業	営農年数	
	農業	36年	
	年齢	耕作面積	
	53歳	15,500 a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
(1) 応募の理由について 県地区は以前から農業の盛んな地域で、認定農業者も多く様々な営農が行われ相互のかかわりも盛んです。しかし近年農業者の離農も多く認定農家及び集落営農組織等に集中がみられます。機械費資材費の高騰はその経営を厳しいものとしています。今までの経験をいかし次世代育成や地域農業の発展に尽力したいと考える。			
(2) 農業委員に就任した場合の抱負 国の推進する地域計画の設定準備から係わっており今後も地域農業の振興・発展に寄与していきたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成元年 3月	高校卒業		
平成元年 4月	就農、現在に至る		
平成29年～令和 5年	農地利用最適化推進委員就任		
令和 5年 7月	農業委員会委員就任、現在に至る		
令和 6年 7月	株式会社加藤農場設立、現在に至る		
		認定農業者である	広域認定
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
県地区農業推進協議会	水野 誠		
	構成員の人数		
23名			
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域農業振興及び農業者所得向上	三重北農業協同組合理事・総代、農業委員、農地利用最適化推進委員		
推 薦 理 由			
<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり豊富な農業経験があり地域の信頼をえている ・地域農業や農家情報に精通しており、農地の利用調整や耕作放棄地発生の未然防止・解消等農業委員会業務に大きく貢献できると考える ・地域計画作成に準備段階から携わっており農業委員会活動に十分な知識があると判断します 			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 2

被推薦者（推薦を受ける者）			
(いとう あきひろ) 伊藤 明洋	職業	営農年数	
	農業	47年	
	年齢	耕作面積	
	65歳	180a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
(1) 応募の理由について 県地区は以前から農業の盛んな地域で、認定農業者も多く様々な営農が行われ相互のかかわりも盛んです。今期委員を務めて地域農業の様々な問題に直面しましたが次期についても継続して地域の発展に尽力したいと考えます。 (2) 農業委員に就任した場合の抱負 国の推進する地域計画の設定準備から係わっており今後も地域農業の振興・発展に寄与していきたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和61年 4月	三重用水土地改良区 入職	令和 5年 4月	県地区三重用水入水組合 組合長就任、現在に至る
令和 2年 3月	三重用水土地改良区 退職	令和 5年 4月	北野町農家組合 副組合長就任、現在に至る
令和 2年 4月	就農（専業）		
令和 6年 7月	農業委員会委員 就任、現在に至る		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
県地区農業推進協議会	水野 誠		
	構成員の人数		
23名			
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域農業振興及び農業者所得向上	三重北農業協同組合理事・総代、 農業委員、農地利用最適化推進委員		
推薦理由			
・長年にわたり豊富な農業経験があり地域の信頼をえている ・地域農業や農家情報に精通しており、農地の利用調整や耕作放棄地発生の未然防止・解消等農業委員会業務に大きく貢献できると考える ・地域計画作成に準備段階から携わっており農業委員会活動に十分な知識があると判断します			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 3

被推薦者（推薦を受ける者）			
(こばやし かずし) 小林 一司	職業	営農年数	
	会社員兼農業	15年	
	年齢	耕作面積	
	69歳	30a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
これまでの農業で培ってきた経験を活かし地域の農業者の皆さんに納得いただける活動をするため、農業委員会委員という立場からより広い視野をもって取り組んで参りたいと思います。 まだまだ至らぬ点もありご不便をおかけすることもあるかと存じますが、任命されたしだいには責任をしっかりと果たして行けるよう邁進する所存です。 今後ともより一層のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和54年～昭和61年	コクエイ緑地（株）勤務	令和5年 4月	桜町南区農家組合 総代就任、現在に至る
昭和61年 7月	(株)三重造園 入社、現在に至る		
平成22年	就農、現在に至る		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
桜地区農業推進協議会	村田 久和		
	構成員の人数		
	37名		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
農林行政の円滑な推進、 農業の振興と農業経営の安定	地区農業の振興について活動を行える 地区内の農業従事者		
推 薦 理 由			
小林氏は、桜地区を代表する農業者の一人であり、同地区的農業振興に貢献していただいています。 また、桜町南区農家組合の総代をしており、農業に関する識見もあり、人柄も申し分なく、委員としての職務遂行にあたり独立性が確保できる人物です。 農業委員会の委員選定に関しまして、小林一司氏を推薦いたします。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 4

被推薦者（推薦を受ける者）			
(しみずかな) 清水 加奈	職業	営農年数	
	農業	21年	
	年齢	耕作面積	
	46歳	900a	
	性別	営農類型	
	女	茶	
抱負等			
私はこれまで家族でかぶせ茶を作り、全国第1位の生産量である「かぶせ茶」を1人でも多くの方に知ってもらいたいという想いから、2010年に「かぶせ茶カフェ」をオープンしました。直接消費者に美味しさを伝えたり、子供達に茶や茶工場の見学、淹れ方体験等を行い、地元農作物の魅力を伝える活動をしています。このような経験と女性ならではの柔軟な発想を活かし、遊休農地の活用や6次産業等で新たな価値を作ることで、次世代の農業経営が安定することや、農業のやりがいを生み、四日市市の農業を少しでも明るく、守っていきたいと思います。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成13年 4月	株式会社丸山園本店 入社	平成25年 3月	四日市茶農家女子会 発足 (うち、会長1期)
平成16年11月	株式会社丸山園本店 退社	平成29年～令和 5年	四日市市農業再生戦略会議 委員
平成16年12月	有限会社マルシゲ清水製茶 入社、現在に至る		
		認定農業者である	市認定
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
水沢地区農業推進協議会	本郷 圭三		
	構成員の人数		
	32人（役員数）		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域内農業の振興	地区内農地経営主		
推薦理由			
地区の中心的な農家として、多角的に農業に長年従事し、強い責任感で、地域農業の先導役として、活躍されており、今後の地域農業振興に向けての活動に高い意欲を持ち大きく貢献できると考えます。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 5

被推薦者（推薦を受ける者）			
(伴 浩人)	職業	営農年数	
	農業	35年	
	年齢	耕作面積	
	61歳	580a	
	性別	営農類型	
	男	果樹・花き・茶	
抱負等			
<p>水沢特産であるかぶせ茶栽培をはじめ、梅栽培とその加工（梅干）そして、花野菜苗の生産を行っています。</p> <p>そのため一年通じ労働力の安定と経営でのリスク回避を図っています。大学でも農業分野の専攻後、アメリカでの農業研修に1年参加しました。青年／指導農業士の活動での視察研修に積極的に参加し、市内及び、県内のいろいろな農業者との交流を通じ、いろいろな分野の農業の見分を探めています。</p> <p>海外研修の関係では、アメリカ本土、ハワイ、ドイツ、スイス、オランダ、タイ、スリランカの農業視察も参加しました。社協では地区のメンバーと共に地区的イベントに参加出店したり、小学校、地区での花植にも参加したり、コミュニティースクールで水沢小の現状の把握し、自分の持っている情報を現供できないかと思っています。また、今後の地域農業や、農地の活用にも何か、アイデアが出せればと思ってます。</p>			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成 2年 3月	就農、現在に至る		三重県国際農業者交流協会 副会長就任、現在に至る
			水沢地区社会福祉協議会 副会長就任、現在に至る
			水沢小学校コミュニティースクール会長等
		認定農業者である	広域認定
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
水沢地区農業推進協議会	本郷 圭三		
	構成員の人数		
32人（役員数）			
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域内農業の振興	地区内農地経営主		
推薦理由			
地区の中心的な農家として、多角的に農業に長年従事し、強い責任感で、地域農業の先導役として、活躍されており、今後の地域農業振興に向けての活動に高い意欲を持ち大きく貢献できると考えます。			

農業委員会委員応募状況(令和8年1月13日現在)

応募

応募番号 6

応募者			
(いとう はじめ) 伊藤 元	職業	営農年数	
	農業	42年	
	年齢	耕作面積	
	67歳	1,100a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
本市の農業発展に邁進します。 ・農業委員会組織や各委員が自主的に活動できるよう、今回も更なる手本となり積極的に活動していきます。 ・地域地区の困りごとの解決に向けた相談会を開催します。 ・地域計画策定の推進リーダーとして努めます。 ・地域地区と農業行政とのパイプ役を努めます。 ・令和6年度に楠地区において、若手の担い手農家育成を目指すため、JAみえきた営農指導部、三重県農業普及センター、四日市市農水振興課、薬剤メーカー他、各社関係機関のご協力のもと「楠地区稻作研究会」を立ち上げて3年目に突入します。地域が安心して営農活動が出来るよう中規模農家や大規模な法人化組織に育つまで、今後においても会長として、しっかりと支援して参りますので、ご協力をお願いしたいと思っています。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和53年～昭和57年	自動車ディーラー勤務	平成17年～平成27年	三泗鈴亀農業共済事務組合委員
昭和58年 4月	就農、現在に至る	平成27年～平成29年	楠川北地区水利組合組合長
平成11年～平成17年	楠町農業委員会委員	令和 6年	楠地区稻作研究会会长就任、現在に至る
平成15年～平成17年	楠町議会議員		三重県農業共済評価委員
平成17年～平成27年	四日市市議会議員		楠町北五味塚農地組合長
平成17年～平成27年	四日市市農業委員会委員		JAみえきた楠地区総代就任、現在に至る
平成29年～令和 2年	四日市市農業委員会委員		
令和 2年～令和 5年	四日市市農地利用最適化推進委員		
令和 5年 7月	農業委員会委員 就任、現在に至る	認定農業者である	広域認定
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 7

被推薦者（推薦を受ける者）			
(もり たけし) 森 勇志	職業	営農年数	
	農業	19年	
	年齢	耕作面積	
	52歳	9,440 a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
羽津地区の農業基盤整備は、他地区に比べて非常に遅れており、現在、土水路の用水路改良整備を国補助事業で、年資計画で施工中ですが、担い手である農業者として、農地の集積を進めるには、これら基盤整備は、早期に完成する必要があり、強く関わりをもって、進捗に努めていきたい。 地域農業の現状を踏まえ、農地の集積・集約は、担い手に課せられた使命であり、我々中心経営体としてその役割は、重要となっております。 様々な地域の課題もある中で、農業委員会と連携し、農地の集積・集約の拡充に取り組んでいきたい。また、さらに今後、どの農地をいつ耕作するか、詳細に具体化した農地利用に取り組みたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成 8年 4月	サンワ電業(株)入社	平成29年～令和 5年	四日市市農業再生戦略会議委員
平成18年 2月	サンワ電業(株)退社	平成31年 4月	四日市市消防団羽津分団副分団長就任、現在に至る
平成18年 3月	就農、現在に至る	令和 2年 4月	羽津地区農業推進協議会推進委員
平成18年 3月	森日光(有)入社	令和 2年 7月	三重北農業協同組合総代
平成25年 2月	森日光(有)代表取締役就任、現在に至る		
令和 5年 7月	四日市市農業委員会委員就任、現在に至る	認定農業者である	広域認定
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
羽津地区農業推進協議会	寺内 正郎		
	構成員の人数		
			101人
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域農業の振興・維持・保全・管理、今後の農業推進	羽津地区に在住し、農地・農業用施設を所有する者		
推薦理由			
① 羽津地区の農地集積・集約は確実に進んでおり、認定農業者で担い手でもある森日光有限会社の代表者でもある被推薦者は、精力的に拡充を図っており、地域農業に貢献し高い評価を得ている。 ② 現在も農業委員として農道・羽津用水・農業用施設等の作業においても積極的に参加していただき、維持管理作業活動、持続的な地域農業に貢献して、その頼度は厚い。 ③ 地域計画にても積極的に取り組んでいただき、羽津地区的農業を牽引してもらっている。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 8

被推薦者（推薦を受ける者）			
(よねかわ せいいち) 米川 静一	職業	営農年数	
	農業	49年	
	年齢	耕作面積	
	68歳	800 a	
	性別	営農類型	
	男	茶・水稻	
抱負等			
高校卒業後、製茶業と米作りに就農し、農閑期には異業種の電気工事士となり、現在に至る。その間、青年会活動参加し、若者の 地域愛を育み地域の若者との交流を盛んにした。家庭を持ち3人の子供をもうけ子供会活動、PTA、社協活動にも参加、自治会においては副会長を経験した。 製茶業においては、バブル崩壊後の急激な茶価の下落と伊勢湾の水質汚染が元凶とされ栽培方法の変化に伴い品質の低下、減収量からの経営難、後継者不足、廃業、耕作放棄と悪循環になり栽培方法を見直し耕作放棄地の借入れ、大型機械の導入により品質の向上、経営の安定化を実施した。米作においては地内の農家の自給自足を応援し「乾燥糊摺り」の一部作業を受託し、糊摺りから出た糊殻と牛糞を混ぜ堆肥化して、地力の復旧をし、SDGS化を進める。また管理不足の茶園、森林、竹林を整備し、里山を復活させ、獣の被害の低減に取り組んでいる。鈴鹿山麓に降る雨雪の川への流入量の減少、湧き水、地下水が過剰な他地域への供給の不公平感、一部の受益者による自然破壊、水質の低下など地内に安心して住めない環境の改善を目指して、注視していきたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和51年 4月	就農、現在に至る	平成20年～平成22年	堂ヶ山町自治会 副会長
		認定農業者である	元認定農業者
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
堂ヶ山町自治会	奥村 俊雄		
	構成員の人数		
	101人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地区内住民の安心安全の確保、農業生産力の増進 と農業者の経済的・社会的地位の向上	地区内に在住		
推 薦 理 由			
長年、地区内の農業に携わり、地区内外の農業の発展に寄与してきている。農地の荒廃を防ぐため、地区内の人が農作を放棄した時にも農地を耕作し、整備している。また、農業の耕作とどまらず、青年会活動や、自治会においても積極的に参加してもらっている。自治会においては選挙で副会長に選ばれて、その職務を的確に務めている。人柄も良く、農業委員会委員として申し分ない人物と考えており、推薦する。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 9

被推薦者（推薦を受ける者）			
(とよだ ただあつ) 豊田 忠篤	職業	営農年数	
	会社員、農業	49年	
	年齢	耕作面積	
	68歳	220a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
四日市市内でも、農業の形態、農業者団体のまとめや活動状況など地域によって特性があり、地域に応じた課題解決に向けて、積極的に議論を重ねていきたい。中小農家も含めた多様な農の担い手が活躍できる環境の実現を目指して、地域の声をしっかりと聞きながら、現場と行政をつなぐ役割を果たすとともに、農地の適正な利用や担い手の確保・育成にも力を注ぎ、「地域に根ざした持続可能な農業」の実現を目指したい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成29年 7月	農業委員会委員 就任	令和 5年 7月	四郷地区農業推進協議会 役員就任、現在に至る
令和 5年 7月	農業委員会会長 就任、現在に至る		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
四郷地区農業推進協議会	真弓 源治		
	構成員の人数		
	25人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地区内農地の保全管理、農業生産力の活性化	地区内農地経営主		
推薦理由			
地区内農業者で、地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止、解消など農業委員会業務に貢献できると考えております。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 10

被推薦者（推薦を受ける者）			
(いしがき まさちか) 石垣 雅親	職業	営農年数	
	農業	55年	
	年齢	耕作面積	
	78歳	71a	
	性別	営農類型	
	男	水稻・露地野菜	
抱負等			
若い頃より親の営む農業を手伝い、現在に至るまで農地を荒廃させることもなく適切に管理している。これまでの農業を通しての経験から得た知識、又、県庁勤務時に得た農業行政に対する経験を生かし、適切な農地管理のあり方を考えると共に、農地所有者の意見等も踏まえ、これから地域の農業の維持、発展と農地の適切な保全に力を注いでいきたいとの思いでいるなか、地区農地推進委員の推薦があり、応募することに至りました。この地域においても、農業従事者の高齢化、減少化に伴い、農地の荒廃、ソーラ等への転用等が進む状況を鑑み、農地法等の関係法令等も勉強し、健全な農地のあり方等を考えていきたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和45年 4月	就農、現在に至る	平成18年～平成22年	萱生町自治会長
昭和45年 4月	三重県庁 入庁	令和 6年 4月	八郷地区農業推進協議会 委員就任、現在に至る
平成19年 3月	三重県庁 退職		
平成19年 4月	(株)中部ウエルボーリング社 入社		
令和 4年 3月	(株)中部ウエルボーリング社 退職		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
八郷地区農業推進協議会	加藤 克彦		
	構成員の人数		
	247人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
農業と地域社会に根ざした組織として農業生産力の増進と農業者の経済的向上	八郷地区に在住し農業従事者		
推 薦 理 由			
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの職歴・自治会農業経験等から地域の信任を得ている。 ・地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止に貢献できる人と考えます。 ・JAへの推進協議会へ積極的な参加と連帯によって、地域への取り組み、情報等協同の成果をえて社会的役割を果しています。 			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 11

被推薦者（推薦を受ける者）			
(しみずとおる) 清水透	職業	営農年数	
	農業	21年	
	年齢	耕作面積	
	66歳	400a	
	性別	営農類型	
	男	水稻・果樹	
抱負等			
地域農業の安定的な継続が危ぶまれる状況にあり、関係の農業者も行く末を案じている。このため、今、農業者と関係機関が連携して将来に向けての取り組みを進めることが大切であり、農業委員会の果たす役割は大きいと考える。 農業委員会の一員として、農地利用の適正化を推進するとともに地域農業が安定して継続する道筋を地域の農業者と共に考え取組みを進めたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和57年 4月	三重県庁 入庁	平成26年 9月	川島東部農地水環境を守る会 会計、現在に至る
平成16年 2月	就農、現在に至る		
令和 2年 3月	三重県庁 退職		
令和 5年 7月	農業委員会委員 就任、現在に至る		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
川島地区農業推進協議会	松岡 幸彦		
	構成員の人数		
	36人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
農地生産力の増進と農業者の経済的・ 社会的地位の向上	川島地区に在住し農地を有する者		
推薦理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの職歴・農業経験者等から地域の信任を得ている。 ・地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等、農業委員会業務に貢献できると考える。 ・今後の地域農業発展など常に農業についての考え方を持ち備えている。 			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 12

被推薦者（推薦を受ける者）			
(かわい まさかず) 河合 正一	職業	営農年数	
	農業	14年	
	年齢	耕作面積	
	75歳	43a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
・担い手の高齢化や後継者不足、不在地主の増加などにより未利用農地の拡大が危惧されており、地域農業の安定的な存続が課題となっている。地区ごとの営農条件には差異があり、それぞれの地区に相応しい農業経営体を育成しバックアップしていくことが肝要と思う。 ・平成27年頃、担い手の高齢化等により河原田地区内の水田にも不作付地が点在し始めたため、仲間とともに南河農地管理者組合を設立し農地中間管理機構を利用した水田利用の集約化を進め、現在に至っている。 ・これまでの経験を活かし、農業委員会制度を勉強しながら、既存農地の有効活用、地域内農業経営者の持続的かつ安定的な存続に貢献したい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和49年 4月	三重県庁 入庁	平成24年～平成29年	南河原田町自治会長
平成23年 3月	三重県庁 退職	平成25年～平成28年	JAみえきた理事
		平成28年 1月	南河農地管理者組合 代表、現在に至る
		平成28年～令和 5年	河原田地区連合 自治会長
		令和元年～令和 4年	JAみえきた理事
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
河原田地区農業推進協議会	赤尾 和博		
	構成員の人数		
	役員数 20人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
農業生産の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上	河原田地区に5a以上の農地を有する者		
推薦理由			
南河原田町自治会長又、河原田地区連合自治会長を長く務めており、人柄、経験、実績等地域からの信頼も厚く特に南河原田地区において、農地の中間管理機構を通じて、担い手の一員として水田耕作に従事されています。地域での貢献度が高い方です。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 13

被推薦者（推薦を受ける者）			
(うさみ まさと) 宇佐美 政人	職業	営農年数	
	農業	38年	
	年齢	耕作面積	
	61歳	350a	
	性別	営農類型	
	男	水稻・施設野菜	
抱負等			
就農して、約40年が経過し、その間の多くの経験から農業の大変さ、大切さを学びました。より良い地域農業の実現のために、この経験が活せばと考えています。現在の農業は、多くの課題（就農者の高齢化、後継者不足、農業経営難、農業の重労働等）を抱えていますが、少しでも改善する様に、微力ながら尽力いたします。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和62年 4月	就農、現在に至る	平成28年～令和 8年	生桑町農家組合 組合長
		平成28年 3月	生桑町自治会役員 現在に至る
		令和 4年 4月	三重地区推進協議会 会長、現在に至る
		令和 4年～令和 7年	JA三重北農協理事
		認定農業者である	広域認定
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
三重地区農業推進協議会	宇佐美 政人		
	構成員の人数		
	30人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
農業再生力の増大と、農業者の経済的・ 社会的地位の向上	四日市市に在住し5a以上の農地を有する者		
推薦理由			
これまでの職歴や農業経験から地域の信任を得ており、農業や農政に精通しており、地域の事情にも明るいため。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 14

被推薦者（推薦を受ける者）			
(うちだ あきら) 内田 晃	職業	営農年数	
	農業	39年	
	年齢	耕作面積	
	69歳	809 a	
	性別	営農類型	
	男	水稻・露地野菜	
抱負等			
農業の現状は小規模、兼業農家がほとんどです。また高齢化・後継者問題・農業機械の高騰など様々な問題を抱えています。例えば、集落営農組合を設立すれば農地の利用・集積・集約化が図られ、休耕田の問題も解決することになります。食料の安定供給のために農地を保護し、農地が適切に利用されるようになればいいと思います。 就任にあたり、未熟な点も多々あるかと存じますが、皆様のご指導、ご助言をいただきながら、地域の為に精一杯務めてまいります。 何卒よろしくお願ひ申し上げます。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和50年 4月	JSR（株）入社	令和 5年 4月	高角東集落営農組合 副会長就任、現在に至る
令和 3年 7月	JSR（株）退社		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
神前地区農業推進協議会	生川 秀治		
	構成員の人数		
	38人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域の水田、畑の効率的な活用と経営や作付状況の確認及び水稻生産数量に基づいた作付け状況の確認を行う。	神前地区に在住し各地区から選ばれた農地を所有する実行組合長・農家組合長・農業委員		
推薦理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの職歴・農業経験等から地域の信任を得ている。 ・地域農業や農家情報に精通しており、自ら積極的に農地集積や耕作放棄地の未然防止消等、農業委員業務に貢献できると考える。 			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号	15
------	----

被推薦者（推薦を受ける者）			
(まえそば のりお) 前嶋 徳男	職業	営農年数	
	農業	7年	
	年齢	耕作面積	
	63歳	150a	
	性別	営農類型	
	男	水稻・露地野菜	
抱負等			
父が他界し、昨年退職してから本業として、就農した中で以前から特に感じていた事柄として、荒廃した畠が多く、一定の方しか管理出来ていない現状を、農道及び水路の整備の普請事業など、農業振興に協力していきたいと思います。又、この地域での、特産物野菜の生産振興にも、注力出来れば幸いです。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和60年～昭和61年	トヨタカローラ三重	平成28年度	前嶋西組 組長
昭和61年 3月	九鬼資材（株）入社	令和 6年度	采女地区杖衝坂雲園 副総代就任
令和 7年 8月	九鬼資材（株）退社	令和 7年 4月	采女中部地区（前嶋地区）地区長就任、現在に至る
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
内部地区農業推進協議会	中山 博昭		
	構成員の人数		
	49人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域の農業の活性化・生産力のさらなる 推進、農業者の経済的向上を図る。	内部地区在住		
推薦理由			
地域の農業の発展に積極的であり、地区の信頼も厚い方です。采女地区からも前嶋氏が適任と推薦頂いています。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 16

被推薦者（推薦を受ける者）			
(やまかわ ともし) 山川 友志	職業	営農年数	
	農業	30年	
	年齢	耕作面積	
	63歳	3,584a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
現在農業は高齢化や後継者不足等により継続することが困難になっている。また農業者が所有している農業機械は老朽化や故障により使用できなくなても、高額になり更新を断念せざるを得ない状況である。 これからも農業を取り巻く環境は更に厳しくなると思われますが、国・県・市などの行政機関とのパイプ役となり、情報を地域全体で共有できるよう、また様々な制度や補助事業等をうまく活用できるように地域に発信していきたいと思います。 今後地域の農業（農地）を守るために、若手の育成や次世代層に私たちが経験したこと・農業の魅力を伝えていくことが一番大切であると考えます。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和55年 4月	四日市市農業協同組合 入組	昭和62年 4月	農協総代 就任、現在に至る
平成24年 4月	三重四日市農業協同組合 退職	平成23年 4月	山条農家組合（保々地区） 組合長就任、現在に至る
平成29年～令和 5年	農地利用最適化推進委員	令和 5年 4月	中野土地改良区 副会長就任、現在に至る
令和 5年12月	農業委員会委員 就任、現在に至る		
		認定農業者である	市認定
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
保々地区農業推進協議会	会長 伊藤 清久		
	構成員の人数		
	29人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
農業行政の円滑な推進及び農業振興と農業経営の安定を目的とする	実行組合長、農家組合長、三重北農協総代及び理事、農業委員会委員など農業振興活動者		
推 薦 理 由			
被推薦者は地域を代表する認定農業者で、地域農業や各農家の状況など精通しており各圃場の状況なども詳しい。また担い手への農地の集積・耕作放棄地の解消や未然防止などにも意欲があり、耕作が困難な農業者などの農作業を積極的に引き受けている。後継者の育成や地域の農業者にもアドバイスをするなど積極的に活動しており、農業推進協議会においても的確な意見を述べるなど存在感がある。協議会委員と連携して地域農業発展にも取組んでおり、農業委員会活動に貢献できると判断し推薦いたします。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 17

被推薦者（推薦を受ける者）			
(さとなか としお) 里中 俊雄	職業	営農年数	
	農業	54年	
	年齢	耕作面積	
	72歳	900a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
このたび、四日市市農業委員を拝命するにあたり、その責任の重さを強く感じるとともに、地域農業の発展に微力ながら貢献したいという思いを新たにしております。 本市の農業は農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加など、多くの課題を抱えており、農地の適正な利用と保全がこれまで以上に重要になっております。 農業委員として、現場の声に真摯に耳を傾け、農地の有効活用や円滑な権利調整に努めるとともに、農業者と行政との橋渡し役として、公平公正な立場で稼務を遂行していきたいと考えております。また、地域の実情を踏まえ、将来を見据えた持続可能な農業の実現に向け他の委員の皆様と連携しながら、誠実に取り組んでまいります。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和57年 7月	(株)日本総合施設 代表取締役 就任	平成17年	小山町自治会長 就任、現在に至る
令和 4年～令和 7年	農事組合法人 農地担い手管理 機構設立、代表理事就任	令和元年～令和 7年	四日市市地区防災組織 連絡協議会会长
令和 7年10月	(株)農地担い手管理機構 代表取締役就任、現在に至る		
		認定農業者である	市認定
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
小山田地区農業推進協議会	会長 伊藤 正美		
	構成員の人数		
	250人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
小山田地区内の農業振興と活性化をはかり、 持続可能な農業の推進	小山田地区に在住し、農地を所有又は耕作する者		
推薦理由			
里中氏は、自治会長をはじめとし、地区内、さらに市の団体役員等を務められ地域の信任を得ています。又認定農業者として農地の利用集積など自ら規模拡大を実践し、更に率先してスマート農家の取り入れもを行い、精力的に活動されています。 農業や農家に精通しており、耕作放棄地の防止・解消等、種々様々な課題について、その取り組み姿勢は地域住民から高い評価を得ています。 農常委員会第務に貢献できる人ですので、推薦させて頂きました。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月13日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号	18
------	----

被推薦者（推薦を受ける者）			
(のろ まさみ) 野呂 昌見	職業	営農年数	
	農業、アルバイト	40年	
	年齢	耕作面積	
	70歳	32a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
10年先、20年先農地を耕作者、地権者がどのように守っていくか考え、農地を放棄する事なく耕作出来る様、また担い手農業者、認定農家が少しでも作業がしやすいうように土地改良（田面拡張工事）を推し進めて行こうと思う。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和49年 4月	桑名市役所 入庁	平成28年～平成29年	大鐘町農家組合長
平成28年 3月	桑名市役所 退職	平成30年 4月	下野地区農業推進委員就任、現在に至る
令和 5年 7月	農業委員会委員就任、現在に至る	令和 3年～令和 4年	大鐘町農家組合長
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
下野地区農業推進協議会	藤谷 克彦		
	構成員の人数		
	28人		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域農業の適正な推進と生産力の向上を目指す。	下野地区6町の農家の方で、それぞれ推薦を受けた者		
推薦理由			
平成28年から大鐘町農家組合長、平成30年4月から下野地区農業推進協議会委員として、今まで大鐘町、西大鐘町での農地の畦畔除去事業（農地の大区画化）を積極的に取り組んできており、又、今後の下野地区全体の基盤整備事業の推進に欠くことのできない人材である。農業委員2期目に無くてはならない人として推薦します。			

農業委員会委員応募状況(令和8年1月13日現在)

応募

応募番号 19

応募者			
(いとう こうきち) 伊藤 幸吉	職業	営農年数	
	農業	45年	
	年齢	耕作面積	
	69歳	25 a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
昨今の農業の課題として、1) 担い手不足と高齢化の進展、2) 耕作放棄地の増加、 3) 新規参入の難しさがあると考えています。 魅力ある（将来性のある）農業を目指すために最初に進めるのは、種々の農作業を個人から組織へと規模の拡大を図っていくことかと考えています。これによって、生産性の向上、作業の効率化がされるのではないかと考えます。 皆と協力して魅力ある地域の農業に貢献したいと考えています。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和55年 3月	就農、現在に至る	令和 7年 4月	大矢知町斎宮農家組合長 就任、現在に至る
昭和55年 4月	(株) 河合楽器製作所 入社		
昭和56年 2月	(株) 河合楽器製作所 退職		
昭和56年 3月	徳倉建設 (株) 入社		
令和 6年12月	徳倉建設 (株) 退職		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する

農業委員会委員応募状況(令和8年1月13日現在)

応募

応募番号 20

応募者			
(おか よしひろ) 岡 良浩	職業	営農年数	
	大学教員	—	
	年齢	耕作面積	
	64歳	—	
	性別	営農類型	
	男	—	
抱負等			
私は1994年から30年以上に渡って、地元四日市大学にて大学教員として務めてまいりました。地域経済・地域産業・地域開発を専門としており、ひろく地域経済と地域産業およびまちづくりに関する講義を行ってきました。また三重県においては公共事業評価・開発審査会、四日市においても入札監視委員会、開発審査会などを歴任しておりました。さらに四日市商工会議所では、長く選挙管理委員を務めております。			
もともと地域のまちづくりに関心があり、都市計画を中心として学んでいましたが、近年は、農業をはじめとする環境にやさしいまちづくりに関心を持っています。2017年より3期に渡って、学長推薦のかたちで農業委員に就任しておりますが、今般の応募では、個人推薦のかたちで引き続き就任したいと考えています。地域農業は、ますます重要となりつつあると感じ引き続き貢献したいと考えています。			
よろしくお願ひいたします。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成2年～平成6年	四日市地域経済研究所 研究員（市職員として出向）	令和 6年 4月	四日市大学社会連携センター長 就任、現在に至る
平成6年～平成12年	四日市大学講師（常勤）		
平成12年～平成19年	四日市大学経済学部 助教授		
平成19年～平成30年	四日市大学経済学部 准教授		
平成29年 7月	農業委員会委員 就任、現在に至る		
平成30年 4月	四日市大学総合政策学部 准教授		
令和 4年 4月	四日市大学総合政策学部 教授就任、現在に至る	認定農業者である	—
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する

農業委員会委員応募状況(令和8年1月13日現在)

応募

応募番号 21

応募者			
(いとう ひでとし) 伊藤 豪俊	職業	営農年数	
	農業	12年	
	年齢	耕作面積	
	74歳	102a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
<p>地区内の農地は市街化区域の農地が多く、調整区域は垂坂地区と中山間部(里山)に農地が点在する所です。この条件化で大矢知営農組合を立ち上げ、後継者不足の農地を守る事をしました。</p> <p>現在、耕作者の高齢化が進み、地権者が離農するケースが頻繁に見られます。都度相談されることがありますが現状、対策ができず放棄か転用になっています。今後も推進委員と協力し、放棄にならないよう努めてまいります。</p> <p>農地の取得が改訂され新規就農者が参入し易くなりましたので参入促進に努めてまいります。</p> <p>農地法を理解せず違反転用が起こらぬよう農地パトロールをおこなって発生防止に取り組みます。</p>			
	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成25年 5月	桑名電気産業(株) 退職	平成27年～平成30年	大矢知営農組合 組合長
平成25年 6月	就農、現在に至る	平成30年～平成31年	大矢知地区農業推進協議会 会長
平成26年～平成29年	農業委員会 委員	令和元年～令和 4年	三重北農業協同組合 理事
平成29年～令和 2年	農地利用最適化推進委員	令和 3年 4月～	大矢知地区自治会長 就任、現在に至る
令和 2年～令和 5年	農業委員会 委員		
令和 5年 7月	農業委員会 副会長 就任、現在に至る		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する